

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100722
事業所名	グループホーム安城福釜の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 日常的に自治会長が地域情報を届けてくださる等、開設から16年間積み上げた関係が実っています。例えば地域の盆踊りでは、管理者が2晩かけて何度もピストンする姿をみて、ご近所さんが「参加品は後で届けてあげるからね」と声がかかるという温かなリレーションがあります。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族の出席率は低いものの、行政、地域を交えて、隔月開催が叶っています。民生委員からは空室や待機への質問が挙がったり、また事業所からは転倒事故についての報告があったりと、日常に即した内容を以て話し合いが進められ、透明性の高い運営を心掛けていることが覗えます。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 安城市高齢福祉課は運営推進会議へ毎回職員を替えて熱心に出席くださるほか、地域包括支援センターも欠席なく、行政には手厚い協力を得ています。事業所でもグループホーム部会をはじめとする行政の集まりには努めて参加しており、講座運営のスタッフになることもあります。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 7月は買い物疑似体験、8月は西瓜割りといった毎月のイベントには家族へ案内を出してはいますが、たまたま面会で観ていくことになった偶然も重なり、また不定期ですが『福釜だより』を届けていることで親しみが増している様子で、面会も日に日に増えています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	